

令和5年度 第1学年 書写 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」 「道徳との関連」等 各学校・教科に必要なもの			
4月	漢字を分解してみよう	3	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。	知・技 (3)エ (ア), (1)イ	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。	作品	表現力			
5月				漢字の筆使い	2	楷書に調和する仮名(いろは歌)		思・判・表	点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。	作品
								主体的に学習に取り組む態度	進んで穂先の向きや筆圧などを確かめ、学習課題に沿って点画を書こうとしている。	作品観察
	6月	楷書に調和する仮名(いろは歌)	2				楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる	知・技 (3)エ (ア), (1)イ	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。	作品
思・判・表				毛筆で「天地」「春風」を書写するなかで、漢字の筆使いを確かめている。	作品					
主体的に学習に取り組む態度				進んで漢字の筆使いに注意し、学習課題に沿って「天地」「春風」を書こうとしている。	作品観察					
6月	文字の大きさと配列(俳句)	2	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	知技(3)ア、エ(ア), (1)イ	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。	作品	表現力			
				思・判・表	小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。	作品				
				主体的に学習に取り組む態度	平仮名(楷書に調和する仮名)の筆使いを意識し、字形を確かめながら「いろは歌」を書いている。	作品観察				
7月	[コラム]文字の歴史を探る	1	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。	知技(3)ア、エ(ア), (1)イ	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。	作品	表現力			
				思・判・表	文字の大まかな歴史を確かめている。	作品				
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に文字の歴史について知ろうとし、学習課題に沿って身近な使用例を調べようとしている。	作品観察				
				知技(3)エ(ア), (1)イ	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品				

	[学校生活]目標 を書こう	2	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	思・判・表	目標を書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	表現力
				主体的に学習に取り組む態度	進んで習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして目標を書くようとしている。	作品 観察	
9月	速さを比べてみよう	4	漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。	知技(3)エ(ア)・(イ), (1)イ, A(2)イ	漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。	作品	表現力
				思・判・表	二つの速さで書き比べる活動のなかで、両者の形の違いを確かめている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に速く書いたときの文字の特徴を捉え、学習の見通しをもって行書を学ぶ意義について話し合おうとしている。	作品 観察	
	行書の特徴	4	漢字の行書の特徴を理解することができる。	知技(3)エ(イ), (1)イ, A(1)オ(2)イ	漢字の行書の特徴を理解している。	作品	表現力
				思・判・表	行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確かめている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に楷書と行書の違いを考え、学習課題に沿って行書の特徴を話し合おうとしている。	作品 観察	
10月	丸み・点画の連続	2	漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。	知・技(3)エ(イ), (1)イ	漢字の行書の基礎的な書き方(丸み・点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで、行書の特徴<丸み・点画の連続>を確かめている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	進んで行書の書き方(丸み・点画の連続)を理解し、学習課題に沿って「一」「二」「口」を書こうとしている。	作品 観察	
11月 12月	点画の変化	3	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	知・技(3)エ(イ), (1)イ	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	進んで行書の書き方(点画の変化)を理解し、学習課題に沿って「大木」「北西」「月光」を書こうとしている。	作品 観察	
1月 2月 3月	[国語] 季節のしおり 1	1	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知・技(3)ア, エ(ア)・(イ), (1)イ	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	表現力
				思・判・表	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品 観察	

令和5年度 第2学年 書写 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」 「道徳との関連」等 各学校・教科で必要 なもの
4月	点画の省略	3	漢字の行書の書き方（点画の省略）を理解して、書くことができる。	知技(3)ウ (ア), (1)ウ 知・技 (1)ア	筆脈を意識し、点画の省略のしかたに注意して行書を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	点画が省略される理由と、主な省略のしかたを理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	楷書と比較し、点画が省略されている部分を主体的に見つけようとしている。	観察	
5月	筆順の変化	3	漢字の行書の書き方（筆順の変化）を理解して、書くことができる。	知技(3)ウ (ア), (1)ウ	筆脈を意識し、楷書とは異なる筆順で行書を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	筆順が変化する理由を理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	楷書と比較し、筆順が変化している部分を主体的に見つけようとしている。	観察	
6月 7月	行書の練習 2	2	行書の部分の書き方を覚えて、その部分をもつ漢字を書くことができる。	知技(3)ア・ ウ(ア)	筆脈を意識し、楷書とは異なる筆順で行書を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	筆順が変化する理由を理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	楷書と比較し、筆順が変化している部分を主体的に見つけようとしている。	観察	
9月	行書と仮名の調和	3	行書と仮名の調和を意識して書くことができる。	知技(3)ウ (ア), (1)ウ	行書と仮名が調和するように、筆脈と筆圧の変化を意識した行書的な筆使いで書いている。	作品	表現力
				思・判・表	行書と仮名を調和させるための筆使いのポイントを理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	楷書に調和する仮名と比較し、行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。	観察	
10月	行書に調和する仮名	3	行書に調和する仮名の特徴を理解して書くことができる。	知技(3)ウ (ア)・ (イ), (1) ウ, B(1)全	筆脈と筆圧の変化を意識し、点画の方向や形の変化、点画の連続に注意して「いろは歌」を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	行書に調和する仮名に表れる点画の特徴を理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	行書に調和する仮名の特徴を主体的に見つけようとしている。	観察	
11月	行書と仮名のまとめ	2	これまでに学習したことを生かして、行書とそれに調和する仮名で文章を書くことができる。	知技(3)ウ (イ), (1) ウ, B(1)全	行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴、文字の大きさと配列に注意し、行書と仮名を調和させながら文章を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	行書とそれに調和する仮名の筆使いや点画の特徴を理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	行書とそれに調和する仮名について、これまでに学習したことを主体的に生かして書こうとしている。	観察	
12月	楷書と行書の使い分け	2	目的や必要に応じて、楷書が行書かを洗濯して書く必要があることを理解することができる。	知技(3)ア、 ウ(ア)	楷書と行書、それぞれの特性を理解した上で、目的や必要に応じて適切な書体を選択し、書き分けている。	作品	表現力
				思・判・表	目的や必要に応じて楷書が行書かを洗濯して書く必要があることを理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	掲示された場面において、楷書と行書のどちらで書くのが適しているか、主体的に考えようとしている。	観察	
1月 2月 3月	季節のしおり 2	2	・これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書くことができる。 ・季節にまつわる詩歌や言葉など、伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。	知技(3)ア、 ウ(ア), (1) ウ	これまでに学習したことを生かして、楷書とそれに調和する仮名、行書とそれに調和する仮名で季節にまつわる詩歌や言葉を書いている。	作品	表現力
				思・判・表	これまでに学習したこと（行書とそれに調和する仮名の筆使いと点画の特徴／行書と仮名の調和／文字の大きさと配列）を理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	これまでに学習したことを生かして季節の言葉を書くことに、興味をもって取り組んでいる。	観察	

令和5年度 第3学年 書写 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準	評価方法	「資質・能力」 「道徳との関連」 等 各学校・教科で必要なもの
4月 5月	全国文字マップ	2	身の回りには文字による多様な表現があることを理解することができる。	知技(3)エ (ア), (1) ア, A(1) オ, (2)イ	身の回りには文字による多様な表現があることを理解している。	作品	知識・技能
				思・判・表	身の回りの文字を探す活動のなかで、多様な表現があることを確かめている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に身の回りの文字を探し、学習の見通しをもって見つけた文字による多様な表現について発表しようとしている。	作品 観察	
6月 7月	文字の使い分け	2	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。	知技(3)エ (ア), (1)ア	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	目的に応じて効果的に文字を書く必要があることを理解している。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に明朝体・ゴシック体・手書き文字の特徴と、それを使うことによる効果を理解し、学習課題に沿って調べた身の回りの文字について発表しようとしている。	作品 観察	
9月 ～ 12月	3年間のまとめ 芸術祭作品	2	3年間で学習したことを確かめることができる。	知技(3)エ (ア), (1)ア	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	設問に取り組むなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして設問に取り組もうとしている。	作品 観察	
1月	3年間のまとめ 新春書写展作品	2	これまで学習したことを生かして、卒業を記念する作品を作ることができる。	知技(3)エ (ア), (1) ア, B(1) ア・ウ	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	卒業を記念する作品を作るなかで、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして卒業を記念する作品を作っている。	作品 観察	
2月 3月	私の好きな言葉	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知技(3)エ (ア)	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	好きな言葉を書くなかで、三年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。	作品	
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして自分の好きな言葉を書こうとしている。	作品 観察	
	季節のしおり3	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	知技(3)エ (ア)	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	作品	知識・技能
				思・判・表	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。		
				主体的に学習に取り組む態度	積極的に3年間で習得した知識・技能を振り返り、今までの学習を生かして季節の言葉をなぞろうとしている。	作品 観察	